

事務事業名		乳幼児学級事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	14 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 学習機会の充実				01	10	05	04	10
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成元 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	江刺雄輝				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	中央公民館	電話			26-3166	E 一般(A～D以外)			
	担当者	木川田舞	内線	432						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・子育てや親子関係に関する多様な学習機会を提供し、家庭教育力の向上を図る事業。 ・中央公民館で、育児に関する講義や親子参加講座、親の心のゆとりを目的とした実技講習などを行う。また、講座受講中は、託児ボランティアの協力を得て、受講生の子どもを併設する。 ・主な業務は、学習計画の立案、講師依頼、開級式・各学習会・閉級式の開催、謝金等の支払い等。 ・事業費は、講師謝金・旅費、事務用品代などに支出される。				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
					財源内訳	都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源				
						事業費計(A)	0			
				人件費	正規職員従事人数					
					延べ業務時間					
					人件費計(B)	0				
					トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
講座の開設(6月から12月まで全12回、金曜開催)		ア	講座開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	延べ講座参加者数
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
4歳以下の子どもを持つ親等		名称	
		単位	
		カ	4月1日現在の4歳以下の子どもの数
		キ	実講座参加者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
学習活動や参加者同士の情報交換を通じて、家庭での乳幼児教育を自信を持ってできるようにする。		名称	
		単位	
		サ	講座に参加して有意義だったと感じた保護者の割合
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
学習意欲の啓発・向上がなされている。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	243					
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		172	235	235	235	235
		事業費計(A)	千円	243	172	235	235	235	235
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,043	972	1,035	1,035	1,035	1,035
⑤ 活動指標	ア	回	11	12	12	12	12	12	
	イ	人	194	129	190	190	190	190	
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	人	1240	1217	1217	1217	1217	1217	
	キ	人	25	20	20	20	20	20	
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	100	94	100	100	100	100	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0868	事務事業名	乳幼児学級事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	家庭の中で子育てをしている親等が、子どもとの関係や子育てについて学び、子どもの健やかな成長に役立ててもらうため平成元年度より開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	核家族化の進行に伴い、育児等の悩みを相談する機会が減少してきている等の理由から、本講座への関心が高い。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	受講生からは、大変有意義であったとの意見が寄せられている。関係者からも時代に即した良い事業であるとの意見をいただいている。また、託児ボランティアの増員についての要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 親等が人間性豊かな子育てを学び実践していくことにより、豊かな心を育む人づくりに結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的が？ 親子が共に参加できる内容と、託児を実施し親が集中して学習できるような内容を織り交ぜた学習機会は他にない。また、受講生同士が講座終了後も連絡や相談をしながら受講経験を活かしている等、家庭教育力の向上に寄与できるものとなっており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 4歳以下の子どもを持つ親等を対象としており、運営内容等を見ても適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 一定の満足度を得ている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 育児をしながら学習したいという市民の意欲に応えることができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 無料講師等を活用し、必要最低限の経費で実施しており、これ以上の事業費の削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実質的に1人の職員が企画担当し、他の職員が応援する形で事業を実施しており、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 教材費等は受益者負担としており、負担は公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	受講者から大変好評を得ている事業であり、今後も継続して行う。内容については、父親の参加促進に繋がるような学習内容を取り入れる等の工夫をしていきたい。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
託児ボランティアが慢性的に不足しており、新規獲得が課題である。学級生に対し、閉鎖式等で託児ボランティアへの参加を呼びかける他、獲得方法の検討が必要である。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	「託児ボランティアの不足」という慢性的な課題を解決するための具体的な改善策が必要である。